



征
服

王
女

R18
ADULTS ONLY

各地を遊説中だった
イスタナの王女ルミオラは
予期せぬ事故で護衛達と
はぐれてしまったところ
そこを通りがかった
人間の商人に助けられる
だがそれは巧妙な罠だった

助けられ安心した王女は
商人が差し入れた飲み物に
二服盛られだして
気がつかず眠らされてしま
う
そして気が付いたときは
どこかの薄暗い牢の中
拘束されていたのだ
……

まさか本当にあの
ルミオラ王女とはな…
うむ…いいだろう
お前の言い値を
支払うことにしよう
ただしこの事は内密にな

へへへ、それはもう…
毎度有難う御座います
オルランド王
それでは今後とも
我が商会をご贖員に…

王女を商人から買ったのは
イスタナの敵対国
オルランドの王その人だった

王は当初彼女を戦いに
利用しようと考えていたが
拘束した彼女の姿を見た時
もっと邪な考えによつて
上書きされた



騒げ騒げ
ここにはもうお前を
助けるものなど
来はしないのだからな



さ、触らないで！
この下郎！

いやっ！いやあつ！
だめ！だめえつ！



知らないだろうが
今イスタナではお前の
国葬が執り行われて
いるそうだよ

う、嘘……
そんなの嘘よ……

商人が身代わりの
死体を用意して
上手くやったそうだ
だからお前を探しに
来る者などもはや
いないということだ

それにお前には
奴隷の紋が
ほら抵抗できまい

ど、奴隷……？
ま、まさかそんな……
いや！やめて！

それじゃお前には
自分の立場を
理解してもらうために
まずはその可愛いお口で
私のモノを奉仕して
貰うことにしようか

そ、そんな……
いやあつ！

ビク

ビク



フッフフ：初めて男のモノを
啜るといふのに
なかなかどうして

エルフの王女は男を
喜ばせる術を
ご存知のようだ

ピョッ

ピョッ

ピョッ

う、うう…いやあ…
んっ！んむ！
あむ…びちゅ…
ん…んむ…

そんなの…
知りません…
ぐす…う…あ…
ぺろ…びちゅ…



いずれ母親の方とは
再会させてやるさ
イスタナを征服した後
二人とも性奴隷としてな

この光景をみただけでも
大金を払った甲斐が
あったというものだな
イスタナ王にも是非
見せてやりたいぞ、ハハハ

貴方などに…
イスタナは決して…

フツ…
ま、とりあえずは
お前で楽しむと
しようじゃないか

う、うう…びちゅ…
びちゅ…ちゅ…
お父様…お母様…
助けて…
もう…いやあ…

ピョッ

ハム

ハム



さあ残さず
飲み干すがいい

ゴク...
ゴク...

.....
んんぐ
んんぐ
.....



よし、そろそろ
我が子種を
味あわせてやろう

んんっ!
んんむっ!



フフフ、このような
恥辱を受けても
まだ心が折れて
いないようだな
流石は女王とい
うことかな

ケホッ...
う、あああ...

どうだ?
初めて飲んだ
男の精液の味は?
くくく、すつかり
メスの顔にな
ったようだな

こんなこと...
許されるはずが...
オルランド王...
貴方にはいずれ
天の裁きが...

だが今度は
お前が自ら私に
抱いて欲しいと
「お願い」をして
もらうとするかな

もちろん
卑猥な言葉でな

—っ!

ふざけ...
ないで...

鏡に映った自分の姿はどうかな？
実に素敵な身体じゃないか
まったくとく…これから穢すのが勿体ない
くらいだぞ、くくく…

それでは
先程教えた通り
私に「お願い」して
貰うとするかな

はい、オルランド王…
イスタナの王女として…
これまで行ってきた…
我が国の所業を詫び…
この身を…貴方に…
捧げることを…誓います…

口が…勝手に…
こんなこと…
絶対言いたく
ないのに…!!

フフフ…
いいぞ…
具体的に私は
どうすればいい？

貴方様の…その…
猛々しくそそりたつ…
…オチン〇で…
私の…処女マン〇を…
貫通して…
女としての…喜びを…
教えて…くだ…さい…

くくく…ハハハハッ！
そう熱心にお願
されたのなら男として
断るわけにはいかん
いいだろう、望み通り
王女ルミオラの純潔
このオルランド王が
貰い受けよう

やめてっ！
やめてえええっ！



—っ！



は…うれしい…です…

どうだ、ルミオラ
初めて男のモノを
受け入れた気分は？
嬉しいだろ？

う、ううう…
あああ…

くくく、奴隷紋で
心にもないことを
言わせるのも楽しいが
従順すぎるのも
面白みにかけるな
よし解除してやろう
さあ好きに嘯るといい

ふ、ふざけないで！
こんなことを
一国の王女にして
絶対に許される
ことではないわ！

このケダモノ！
貴方には王としての
尊厳はないのですか！

いいぞ、やはり
エルフはこうで
なくてはな
もつと罵倒するがいい
その度に絞まって
気持ちいいからな

ひぐっ！はぐうっ！
いやっ、いやあ！！
もうやめなさい！
愚王オルランド！

ハハハ、愚王か
確かにそうかも
しれんな

だがそんなお前は
王女としてどうか？
無理矢理犯されて
いるというのに
随分と気持ち
よさそうな声を
上げているじゃないか

そんなっ！
ち、違——

何が違うというんだ？
所詮お前は憎き敵に
犯されながら感じ
股を濡らしている
淫乱な雌じゃないか

さあ少し
激しくするぞ

語るに落ちるとは
このことだな
随分と声に
艶が出てきたぞ

どうだ？
そのケダモノに
犬のような格好で
犯されている気分は？

いいぞ
もつと鳴き喘げ
そういう反応が
聞きたかったのだ

さあもつと私を
喜ばせるがいい
ルミオラ

ひっ！はうっ！
あう！あああつ！

ああっ！やめて！
こ…の…ケダモノお…

ぜ…絶対に…
許さない…
許さないから…
ひぐっ！うああつ！

ふ、ふざけ…ないで…！
うっぐっ！はぐっ！
あうっ、あううっ！

…や…いやあ…
こんな…こんなの…
もうイヤあ…



それならば
嫌でも反省
できるように
一つ胎に仕込んで
やるとするか

泣き言ばかりで
どうやら
反省する気など
ないらしいな

あたりまえ…
で…す…
うっ…あ、ああつ!

え…?
仕込…
ままさか…



感謝するんだな
お前のような一辺境の
弱国の王女ごときが
私の子を孕めることをな

いいやあつ!
やめて!やめなさい!
だめっ!だめえっ!

くっ…
いくぞ…

らっらああつ!

孕めっ！
ルミオラ！

一発で孕んで
しまえ！

やい、いやあつ！
やめてえつ！

な、中に出てる！
熱いのが中で…
う、あああつ！



しっかりと
締め付けろよ
隆の奥の奥まで
注ぎ込んで
やるからな

あふう……
あ、ああ……

おいおい、初めてなのに
無理矢理中に出されて
イッてしまったのか？
とんだ淫乱王女様だな

もう抜いてえ……
いやあ……
これ以上……
中に出さないで……
うああ……あ……

う、ううう……
うあああ……

ふう……なかなか
良かったぞ、ルミ、オラ
これならば奴隷ではなく
私の後宮に入れてやつても
良いかもしれんな

あ……ああ……

これからは
毎日可能な限り
種付けしてやるから
奴隷としてやるから
扱われたいくないなら
せいで私を
楽しませるんだな

……はい……

それから、ルミオラ王女は
何度か逃亡を試みた
だが、その度に捕らえられ
罰としてオルランド王に
気を失うまで犯された

度重なる凌辱で
心折られたルミオラは
刻まれた紋の通り
王の奴隷となった

初めての頃に比べて
随分オマン○の使い方が
上手になったようだな
エルフの王女様は

お褒めいただき……
ありがとうございます……
ご主人様……

その後、ルミオラの名前が
歴史の上に出ることは
なかった

王女征服

発行 : セブンデイズホリディ
(<http://howlingmine.com/7dh/>)
制作 : 篠川あるみ / 古我望
発行日 : 2022年08月14日(初版)
連絡先 : 7dh@howlingmine.com
印刷所 : プリントネット株式会社

万が一、落丁乱丁等の不備がございましたら、上記メールアドレスにご連絡ください。
本書の一部、または全部を無断で複写、複製することは法律で定められている場合を除き、著作権侵害となります



seven days holiday
2022

王女征服



エルフの王女ルミオラは諸国を遊説中、事故を装って人間の商人に誘拐され、敵国であるオルランド王に奴隷として売られてしまう。王女を手に入れたオルランド王は、その無垢な身体を人知れず穢し尽くすのだった。

